

高島市における家庭教育支援の取組

■家庭教育を取り巻く現状

核家族化や地域のつながりの希薄化により、周囲との関わりが少なくなり、さらには少子化の影響も受け、近い年齢の子どもをもつ他の家庭の様子がわからず、自身の子どもとの接し方や育児全般について「これでいいのだろうか」といった心配や不安を感じている保護者もいる。

また、子どもの貧困やインターネットなどの情報化社会の推進により、いじめなど子どもを取り巻く状況は複雑になる中、保護者は日々の忙しさに追われ、子育てに関する様々な情報を見極めて取り入れることが難しい状況となっている。



■家庭教育支援で目指す姿(課題解決のために…)

保護者に加え、祖父母世代や地域の方などの力が必要とされているため、幅広い年代の方が参加できる講座や学習会を開催し、親子や参加者同士でふれあい、様々な考え方の違いを認め合いながら子どもと関わることができ子育て世代への理解を深める。

【 子どもにどうかかわりあうか講座
「心の大切さ・心と体の発達」】

■本年度の活動

地域で活動されている団体や中学校の生徒が講師になり、親子や祖父母、地域で子どもに関わっておられる方を対象に、地域の教育力の効果的な展開を図るとともに心と体の成長を考える教室や講座、さらには保護者に関心の高いインターネットとの付き合い方をテーマにした講座なども開催した。

■本年度の成果

(1)共育学習会

あそびを取り入れた運動教室を実施し、親子や兄弟姉妹で触れ合う事で、手の暖かさや心地よさをあらためて感じてもらうことができた。また参加者同士の交流も行った。簡単に自宅でできるあそび(運動)であったため、「家でもできそうなことがたくさんあってよかった。子どもの笑顔が見れたり、前はできなかつたことができるようになっていてびっくりした。」などの声が聞かれた。



(2)地域教育力向上講座

絵本の読み聞かせと吹奏楽のコラボや、人形劇、またそれに関連するクイズや簡単工作、さらには吹奏楽の大演奏会等、地域で活動している団体と中学校の生徒や市が協力して、子どもと関わり合う時間の大切さを参加者に学んでいただいた。

【 共育学習会 おうちで簡単！
「親子運動遊び教室」】

(3)子どもにどうかかわりあうか講座

市内各校園で選んだテーマをもとに実施した。

親子で話を聞いたり、保護者同士の交流を取り入れたところもあるなど様々な形で子育てについて考えてもらう時間となった。

■今後の課題

子どもと関連する様々な団体と協力し事業を実施することができるような推進体制づくりを目指す。

報告書記入者(社会教育課 担当)

高島市の地域教育力の向上を目指した取り組み

高島市 本事業開始年度 平成26年度	
活動内容	
<input type="checkbox"/> 地域人材の養成 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援体制の構築 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育を支援する取組 <input type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援活動の実施	(9 日)

家庭教育支援員や支援チームに関すること	
A:家庭教育支援チーム数	()チーム
B:家庭教育支援員数	()人
C:家庭教育支援チームや家庭教育支援員の配置場所数	()か所
D:前項(C)の配置場所名	

■ 活動の具体的な内容

○地域人材の養成等

地域で活動されている団体と中学校の生徒が企画から携わり、講座の内容や構成を考え事業を実施した。

○学習講座・行事の実施等

***共育学習会** 思い切り体を動かし遊ぶことで子ども自身が発達し、親や祖父母、地域で子どもとかかわっておられる方が出会い、さらには触れ合うことでコミュニケーション能力を深めることを目標に実施し、家庭における子どもとのふれあい方や家族とのつながり、地域とのつながりの機会とした。

***地域教育力向上講座** 「絵本の良さを知る」「親と子のふれあう機会・話し合う機会の充実」を目指して実施。地域の団体や中学校の生徒を講師として依頼し、地域教育力の向上を目指した。

***子どもにどうかかわりあうか講座** 市内各校園でテーマを設けて開催。親子で一緒に話を聞いたり、保護者の交流を取り入れたり、関心の高いテーマについて専門家から学ぶなど家庭教育支援に努めた。

○保護者に対する情報提供等

市における広報誌・市防災無線・LINEなどを活用して情報提供を行った。

また作成したチラシを子どもに関わる関係団体やSNSなどのツールを利用して情報提供等を行った。



【 地域教育力向上講座
「おにのパンツ」による
絵本・人形劇・合奏の連携 】



【 地域教育力向上講座
チャレンジ(中学生の周りで折り紙に取り組む子どもたちの様子)】

■ 実施に当たっての工夫

○座学だけでなく、体験を取り入れた講座を開催した。

○高島市子ども読書活動推進計画(第3次)とも関連させ、市立図書館より講座のテーマにあわせた資料を集め、会場に展示した。

また本を実際手に取る時間をとり、参加者に絵本に興味を持つてもらえるよう工夫するとともに、講座の開催会場に図書室を案内し、周知に心掛けた。

■ 事業の成果

○親子や参加者で触れ合う機会を持つことができ、家に帰ってからもう一度してみようという感想や、参加できなかった友だちに教えてあげたいなどの声を聞くことができた。

○地域で活動されている団体の方や中学生が白紙の状態から企画立案し、参加型かつ楽しんでもらえること、かつみんなでコラボできる内容を計画して実施した。団体の方からは「初めてこのような形で実施したので、共に活動できる大変貴重な機会で良かった」などの声をいただいた。

■ 事業実施上の課題

○子育て関連の部署や団体との協力が不十分であった。情報提供の場としても利用してもらえるよう呼びかけを行いたい。

報告書記入者(社会教育課 担当)